

新年あけましておめでとうございいます



年頭の挨拶



和水町長
福原 秀治

あけましておめでとうございます。

皆さまには、それぞれに良き新年をお迎えのことと、心よりご祝辞を申し上げます。

旧年中の町民の皆さま方の町政に対するご理解とご協力・ご尽力に対し、心からの感謝と深甚の御礼を申し上げます。

また、和水町が平成27年の新たな歩みを始めるに当たり、皆さまにおかれましては、尚一層のお力添えを賜りますよう、何卒、よろしくお願いを申し上げます。昨年4月、町長就任をさせていただきまして8カ月となり、皆さまの温かいご叱咤・ご激励をいただきながら、よちよち歩きの、長

いような短いような8カ月でありました。

全国各地では、思ひも掛けない天変地異により、甚大な自然災害が続発し、多くの尊い人命が失われ、莫大な財産が損なわれましたが、幸いにも、私達の和水平穏な日々を維持することが出来ました。

被災された皆さまと地域に対し、町民の皆さまと共に、衷心より哀悼の意を表し、お見舞いを申し上げ、その上で、この町と私達の幸運に対する、慶びを分かち合いたいと存ずるものでございます。

町内では、消防団操法の県大会出場、県中学駅伝大会での3位入賞、英語・作文での中学生の上位入賞、高校駅伝全国大会メンバー入りなど、皆さまの頑張りで町を明るくしていただきました。

また、三加和地区小学校跡地への民間進出など、町の活性化への糸口も見えて

来た反面、一部報道などにより、皆さまにご心配をお掛けしていることにお詫びを申し上げますと共に、これらを厳粛に受け止め、真摯に対応し、一刻も早く光明を見出せるよう最善を尽くして参りたく存じます。

本年は、この町の先々の輝きに向けて、極めて重要な出発点であり、確かな目標を定めて歩み出すべき一年となります。

政府においては「地方創生」を謳い、人口の維持・地域の活性化に向けて「頑張る地方」を応援する政策を掲げております。

我が町も、定住促進・若年人口の維持のためには、雇用の創出、子育て支援、農林業振興、商工観光の活性化、医療・福祉の整備と課題は山積をいたしております。

お金も必要です。町民の皆さまのご協力も必要です。これらの負担を軽くするための国・県の補助や協力も必要になります。

町のやるべきことに優先順位をつけながら、着実な成果を出すことが出来ます

よう、議会・町民の皆さまのご理解と応援をいただきながら、職員と一緒に精励をいたして参ります。

また、懸案の菊水地区小学校の改修統合に向けても、ご意見を承りながら基本計画を進めておりますので、近く、議会・町民の皆さま・教育現場の皆さまにご説明をし、ご理解をいただきたいと考えているところでございます。

また本年は、和水町が合併10年目を迎えることとなります。

この町の希望をつなぐ年となりますよう、精一杯の奮励努力をいたして参る所存でございますので、重ねまして、皆さまの町政に対するご支援とご協力を、心からお願いを申し上げます。

結びに、町民の皆さまの本年の限りないご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、新春のご挨拶に代えさせていただきます。



和水町議会議長
杉本 和彰

援の推進・福祉・道路など中山間地域として多くの課題を抱えております。町議会といたしまして、これら課題に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

議会では、皆さまにとつて「身近な議

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心から喜び申し上げますとともに、日ごろより、町政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私も、新しい年を迎え、和水町の更なる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、昨年は、大雨により避難された方々がおられました。幸いにも人的な被害はなかったものの、改めて皆さまの安全・安心な暮らしを守るための防災・減災対策の重要性を痛感したところであります。また、消防団が玉名郡代表として県消防操法大会に出場しました。日ごろの訓練・チームワークを実感いたしました。

この防災対策の推進をはじめ、農業政策・子育て支



和水町病院事業管理者(院長)

志垣 信行

す。地域の自治体、医療機関、介護福祉施設、更に老人クラブや自治会などすべての機関が協力し、住民に対して病気の予防、治療、介護、生活支援を包括的、継続的に提供し、住民が安心して生活できる事を目的にしています。また、病気の予防や早期治療で、病気の重症化を防ぎ、24時間体制の訪問診療、訪問看護・介護を行い、できるだけ入院治療を少なくして在宅医療への変換を図ります。それにより医療費の削減や入院ベッドが足りなくなる事態を避けることができるという設定です。

和水町について見てみると、しばらくは高齢者数の増減はほとんど無く、現在65才以上の住民は約4000人でその後も一定しており、2025年には3900人くらいと予想されています。ただし、高齢化率は現在の36%から43%に増加しますが、医療・介護・福祉施設は比較的充実しており、都会に比べお年寄りの行き場が無くなって困るという事態にはならないと考えています。また、地域包括ケアシステムという言葉

は最近出てきましたが、かなり前から同様のシステムが少しずつ構築されており、すでに和水町立病院にも健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設しており、町健康福祉課や他の介護・福祉施設も加えて患者さんに関しての情報交換も頻繁に行い、住民の生活支援が行われていると自負しております。

しかし、今後高齢者夫婦のみや一人暮らしの方が増えると思われ、このような支援体制を更に充実していく必要があると思われます。24時間支援を行うためには人員の確保など困難な点も多いですが、ひとつひとつ課題を克服して行かなければなりません。また、このような支援を受けることができるのに、知らないために利用されていない住民もいらっしゃるかもしれません。広報活動も活発に行い、すべての方が老後も安心して生活できる町づくりを協力できればと考えております。

結びになりますが、今年も町民の皆さまが健康で充実した生活を送ることができましますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。